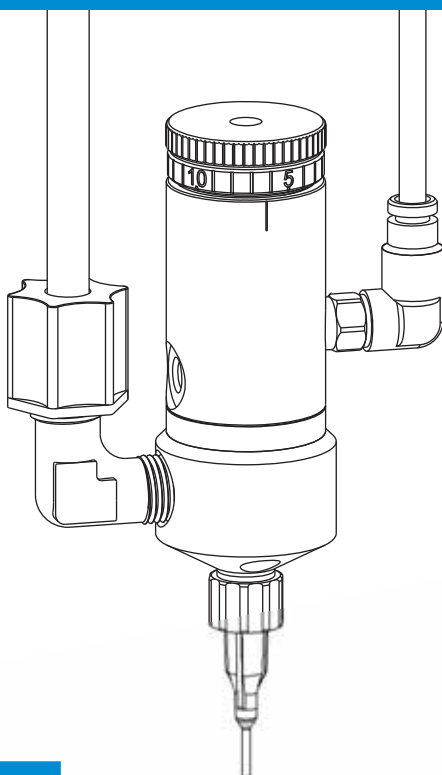


ダイヤフラムバルブ752Vシリーズ

メンテナンス・パーツガイド



重要！

このガイドは大切に保管してください。

このガイドは、メンテナンス管理者にお渡しください。

ノードソンEFDの取扱説明書のpdfファイルは、www.nordsonefd.jpからダウンロードできます。

Nordson
EFD

バルブの分解組立手順

注意：損傷を防ぐために、バルブは液剤吐出側から分解してください。

接液ボディー

1. 2本の固定ネジを外します。
2. 接液ボディーを再度取り付けるには、接液ボディー、ダイヤフラム、シリンダーボディーの穴の位置を合わせ、固定ネジを挿入します。右下のトルク仕様にしながら、固定ネジを締めてください。

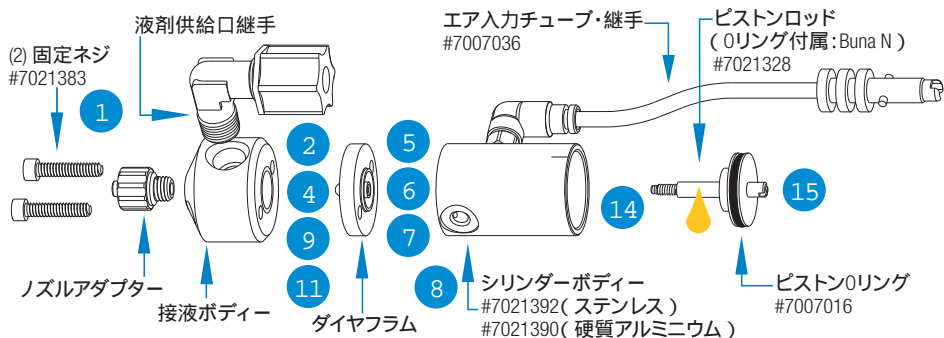
ダイヤフラム

3. ストローク調整ノブを、閉まった位置から反時計回りに2回転させて、引き出します。
4. 接液ボディーを取り外します。
5. ダイヤフラムを反時計回りに回して、ピストンロッドから外します。

6. 新しいダイヤフラムをネジ締めし、中程度の圧力で締め付けます。
7. マイナスドライバーをストローク調整ノブの穴に挿入して、ダイヤフラムの穴を、エアシリンダーボディーの適切な固定穴に合わせ、ピストンロッドの細い穴に合わせます。
8. ロッド、ピストン、ダイヤフラムアッセンブリを、それぞれの穴の位置が揃うまで時計方向に回します。
9. 接液ボディーを装着します。
10. ストローク調整ノブを、閉まるまで時計方向に回し、その後適切な位置までストロークを開いてください。

接液ボディー	ニュートン・メートル	(インチポンド)
アセтал (黒)	1.58 Nm	(14インチポンド)
UHMW* (黄)	0.79 Nm	(7インチポンド)
ステンレス	1.58 Nm	(14インチポンド)

*Ultra High Molecular Weight



ピストンOリング

11. 接液ボディーとダイヤフラムを外します。
12. ストローク調整ノブとばねを、反時計回りに回して外します。
13. ピストン固定リングと反トルクワッシャーを外します。
14. ピストンを外します。
15. Oリング、ピストンシャフト、エアシリンダーの内面を、Nyc潤滑剤#865で潤滑します。
16. 分解したときと逆の順序で組み立てます。

使用する工具：

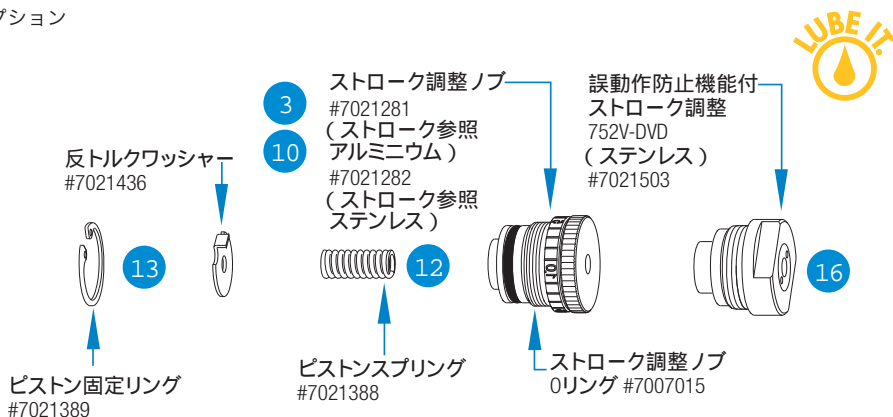
- 7/64" 六角レンチ
- 1/8" マイナスドライバー
- 6" モンキーレンチ
- 6" ラジオペンチ
- スナップリングプライヤー

バルブ機種別交換部品

接液ボディー

種類	UHMW*	アセタル	ステンレス	液剤供給口継手	ノズルアダプター	ダイヤフラム
752V & 752V-SS	n/a	7021356	7021358	7021499 (外径1/4"チューブ)	7021443	7021287
752V-UH & 752V-UHSS	7021360	n/a	7021358	7021499 (外径1/4"チューブ)	7021443	7021287
752V-DVD	7021354	n/a	7021353	7021499 (外径1/4"チューブ)	7021443	7021289

*超高分子
†オプション



トラブルシューティングガイド

液剤が吐出されない

- バルブ駆動エアの圧力が低すぎる場合、バルブは開きません。エア圧を最低でも70psi(0.48MPa)まで上げてください。
- タンクのエア圧が充分でない。エア圧を上げてください。
- ノズルが詰まっている。ノズルを交換してください。
- ストローク調整が閉じている。ストローク調整を開いてください。
- 接液ボディー内で液剤が固化している。接液ボディーを洗浄してください。

バルブが閉じたあと、液漏れが見られ、徐々に止まる

- この現象は、接液ボディーの吐出部にエアが溜まっている、あるいは液剤にエアが混入している場合に見られます。エアはバルブが閉じたあとに膨張し、エアが大気圧に達するまで液剤を押し出します。エアが見られなくなるまで液剤を定量で吐出し、パージを行なってください。ゲージの小さいノズルを使用している場合、ノズルアダプターからエアが抜けるのに十分な液剤が吐出しない場合があります。そのときは、ノズルと外してください。
- 液剤にエアが混入しているときは、吐出を行なう前に脱泡してください。

バルブが閉じたあと、液漏れが一定の間隔でみられる

- 一定間隔で液漏れする場合は、タンク圧が高すぎる可能性があります。タンク圧が70 psi (0.48Mpa)を超えていないかご確認ください。
- ストローク調整ノブを2回転させると、タンク圧が高くなり、ダイヤフラム開きます。ストローク調整ノブが、2回転以上回されていないかご確認ください。
- 一定間隔で液漏れする場合は、液剤の粒子が堆積しているか磨耗しているために、ダイヤフラムが完全に閉じないことが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、シーリングヘッドを交換してください。

液剤が接液ボディーとダイヤフラムの間から漏れる

- 接液ボディーとダイヤフラムの間からの液漏れは、接液ボディーの環状シーリングリッジが破損している、固定ネジの取付トルクが大きすぎて接液ボディーが変形しているなどの原因が考えられます。接液ボディーを交換してください。

駆動エア入力口下の通気孔から液剤が出る

- 駆動エア入力口のすぐ下に、放熱用の通気孔がありますが、ここから液剤が出るのはダイヤフラムが破損していることが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、ダイヤフラムを交換してください。

バルブ開閉のレスポンスが遅い

- バルブのレスポンスは駆動エアチューブの長さや径に関係しています。ノードソンEFDのバルブには、内径3/32"の5'のチューブが同梱されていますが、これより長い、あるいは太いチューブをご使用になると、レスポンスタイムに影響がでます。違う長さ、内径のチューブを使用していないか確認してください。

吐出が不安定

- バルブ駆動や液剤タンクへの供給エア圧が一定ではない、あるいはバルブ駆動エア圧が70 psi (0.48MPa)未満の場合、液剤吐出が不安定になる場合があります。エア圧が安定しており、駆動エア圧が70 psi (0.48MPa)に達しているかご確認ください。
- バルブの開放時間は一定である必要があります。バルブコントローラーが正しい出力を行なっているかご確認ください。

ノードソン株式会社 EFDビジネスグループ
Tel : 03-5762-2760 Fax : 03-5762-2737
japan@nordsonefd.com www.nordsonefd.jp

WAVEデザインは、Nordson Corporationの登録商標です。
©2010 Nordson Corporation 752V-MAINT-GUIDE-09 7026673 v061710